

**嘉手納町屋良東部地区地域振興施設（道の駅かでな）機能拡充事業基本設計業務
基本設計（案）へのご意見**

1. 案件名 : 嘉手納町屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業基本設計業務
2. 意見の募集期間 : 平成28年3月14日（月）～平成28年3月25日（金）

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道側から壁が連なって見えると圧迫感がある。 ・ 開放的な空間づくりはできなかつたのか。広場との連携を含め、検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B棟の扱いについては、当初から県道側を開く案と、駐車場側を開く案を検討していました。ワークショップや商工会とのヒヤリングの中で、施設計画では、既に道の駅に来場されている方の購買意欲を高める事を重視し、来場者をいかに判り易く店舗へ誘導するかという視点で検討しています。既存店舗を含め新設の店舗にどのように導くかなど、入りやすさ、気が付きやすさを検討した結果、広場側（駐車場側）を開く案を採用しています。またB棟は県道側に厨房などの施設があり、機能面から県道側の壁については窓のない形状を採用しています。 ・ 県道側の施設壁面による圧迫感を軽減するために、のぼりやサイン等を配置し、施設の賑わい感や店舗情報を発信することを検討しています。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道側から中が見えないと入りづらいのではないかと閉鎖的な印象を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1と同じ理由で、検討の結果、基本設計案となっています。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何で、あの場所に道の駅を作ったのか。前々から友達同士で話題になっている役場の側に建てれば、新町通りの活性化になったのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅かでなの既存施設は、4階展望場から嘉手納基地が一望できるという施設特性や、嘉手納町以北の観光地を訪れる観光客が沖縄自動車道に出入りする前後に立ち寄る際の利便性等を背景に施設には約50万人（平成22～26年度）もの観光客が訪れています。 ・ 道の駅かでなの敷地周辺には、屋良ムルチや比謝川、米軍基地等の観光資源が豊富にあり、今後そうした資源と道の駅かでなの連携等を見据えた取り組み等を行って 	3/15	町内在住

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
		<p>いく上で、現在の道の駅かでなの敷地のポテンシャルは高いと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、「嘉手納町観光振興基本計画」によると、道の駅かでなは「情報発信ゾーン」、嘉手納町役場周辺の中心商店街を「まちなか回遊ゾーン」と位置づけてられています。今後は、各ゾーンが連携しながら、嘉手納町全体を活性化させていく必要があるため、頂いたご意見を参考にさせていただきます。 		
4	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の入場料が取ればよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅かでなへの入場は、既存棟、増築棟とも無料と想定しています。ただし、施設を適切に管理運営するための資金の一部として、増築棟の4階展望台へ昇る人に対して、入場料を徴収することも課題となっており、今後の参考とさせていただきます。 		
5	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計のパースを想像しましたが、頭の中で描くことができませんでした。したがってこれについて意見は書けません。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計のパースを複数用意していますので、そちらも是非ご参考にいただければと思います。また、これから実施設計をしていく上で、具体的なイメージを検討していく必要がありますので、頂いたご意見を参考にさせていただきます。 	3/17	町内在住
6	<ul style="list-style-type: none"> 嘉手納の道の駅は寂しい。仲泊や名護の道の駅はいつも繁盛している。何が違うのか十分検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度における道の駅かでなと「おんなの駅（＝仲泊の道の駅）」、「道の駅許田（＝名護の道の駅）」の観光客数、売上高を比較すると、道の駅かでなは、観光客数、売上高とも上記2施設を下回っています。（【観光客数】道の駅かでな：約500千人、おんなの駅：約940千人、道の駅許田：約1,900千人 【売上高】道の駅かでな：約265千円、おんなの駅：約1,150千円、道の駅許田：約736千円） 「おんなの駅」「道の駅許田」は、飲食や土産物屋といったバリエーション豊かなテナントが入居しているとともに、その地域特有の商品（魚介類やフルーツ等）の販売が行われています。このように、地域の特産品等を 	3/17	町内在住

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
		<p>活かし、他の道の駅等施設のコンテンツと差別化することで、多くの観光客数、売上高に結びついているものと考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一方、道の駅かでは、当該道の駅が立地する沖縄本島の中中部地域の観光キラーコンテンツが少なく、観光の「目的地」ではなく「通過点」となっており、観光客数は多いが、それが売上げに結びつかない状況となっています。 そこで、今後実施する道の駅かでの機能拡充事業では、中部地域の一番の観光資源である米軍基地やそれに由来するアメリカ文化等を活かし、中部地域らしい土産物などを販売する等、地域ごとの特性や観光客の行動特性を踏まえた施設計画を行い、施設の観光客数、売上等のさらなる増加を図ります。 		
7	<ul style="list-style-type: none"> 嘉手納の道の駅は三本の道路で分断されているが、そこそこ台数が多いときは駐車場（西側）から道をまたがないといけない。西側の道路はもっと西いっぱいにつけ替えて、広くひとつの敷地内にして多くのテナントが入るのを期待する。道で分断されると、テナント数も増やせないし、客も増やせない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の道路を優先して基本設計を行っています。 建物計画敷地のなかで増築施設の配置や駐車場敷地との関連から総合的に既存の道路を変更しない施設計画を行っております。その上で、増築する施設面積からテナント数についても現計画を行っております。しかし、ご指摘のとおり道路で施設と駐車場が分断されていることから、通行の安全性や悪天候時のアクセス、施設と駐車場敷地を一体的に感じる事が出来るようなサイン計画や販促の演出等について、今後、実施設計をしていく上で頂いたご意見を参考にさせていただきます。 		
8	<ul style="list-style-type: none"> 今一度、仲泊と名護の道の駅の敷地のあり方を勉強してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、実施設計をしていく上で、施設や敷地について具体的に検討していくため、頂いたご意見を参考にさせていただきます。 		
9	<ul style="list-style-type: none"> 是非、今回の計画を実現させて、観光、経済発展をさせて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本業務の目的は、道の駅かでの機能を拡充することで「観光客数」、「売上高」を高めることであるため、頂いたご意見を参考にさせていただきます。 	3/18	町外在住

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
10	<ul style="list-style-type: none"> 基地展望後、すぐ施設を退館する施設と言っているのに、図案を見ると同じ事じゃないかと思う。展望デッキ直結のエレベーターがあれば、どこへでも寄らずに上がれる。現在の展望デッキも階段とエレベーターでどこにも寄らずに上がるので、同じ結果をもたらすと思う。デッキに出るには、飲食店、土産屋を抜けていかないと出られないとするべきだと思う。商業施設とするなら、それ位あたり前。もし教養施設重視とするなら、テナント（新規）部分は、必要ないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の増築にあたって設置されるE V及び階段を、新設の売り場近くに設置する事で来館者の滞留が起こる様に設計しています。現在は来館者にとって売場がどこにあるのか判り難く入りづらさもありましたので、今回の計画では、店舗の判り易さ及び駐車場から新設E V・階段までの間の動線部に各施設、店舗を配置しています。これにより現在の状況より各店舗への立ち寄り率を上げる事ができると考えています。既存施設においては、サイン計画の変更を行い施設への誘導を積極的に図ります。 	3/18	町内在住
11	<ul style="list-style-type: none"> 通過型が問題というわりには、案が通過型にしているように見えます。許田の道の駅は見る所というより、食事処、安く野菜類を買う所という感じで、それを目的にくる方（客）が多いですが、かでな道の駅は、基地を見るために来る人がほとんどです。ですから、そこへ直行します。見終わったら、帰る気満々です。店へ寄ってもらうには、通り道に店を配置するとか、お客が無理なく、立ち寄りやすい動線を作らないとダメだと思います。その日1日の予定を始めから立ててまわる人が多いのですから、道の駅に留まる時間は多くありません。許田の道の駅のように始めから食べるつもり、買うつもりと同じではなく、基地を見たついでに「おや」と寄って見て行ってもらおうというつくりにしなないと。絵を見ると私も基地だけ見て帰りますよ。特に食にすぐおいしいめずらしい名前が知られているものがない限り、次の目的地へ急ぎます。アイデアをもう一度考えた方がよいと思います。（長文すいません） 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の機能拡充事業により、道の駅かでなが目指す方向は、現在の50万人という来館者があるというポテンシャルを活かしながら、商業施設としての魅力を高め、「通過点」から「目的地」となるように、中部地域における観光拠点としてのポジションを確立することにあります。 そのための仕掛けとして、基地での戦闘機等の離発着がよく見え、シンボル性の高い展望台を計画しています。 また、駐車場から展望台に上がる新設E V・階段までの間の動線部に各施設、店舗を配置することで、施設への立ち寄り率を上げ、滞留客を増やす工夫をしています。 しかし、各施設や店舗の中身自体に魅力がなければ、観光客の立ち寄りや滞留も起こりませんので、各施設や店舗に入居するテナントやその管理運営方法について、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 	3/23	町内在住
12	<ul style="list-style-type: none"> もったいないことするな。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の道の駅かでなのポテンシャルを活かしながら、商業施設としての魅力を高めていけるよう、今後も施設計画や運営管理計画を検討していきます。 		

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展望台だけの拡充では、現状となんら変わらないような気がします。もっと店舗が入る施設が良いと思う。 ・ 町にランドマークとなる施設が思い浮かばない。(しいて言えば嘉手納飛行場) どうせ作るならデザインも妥協なく。 ・ 雨端、花ブロック、木造、赤瓦等、沖縄らしい、嘉手納らしい近代建築でもってランドマークとする。 ・ 町民、県民、県外、米国人も寄れる施設を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展望台のみの改修ではなく、計画しているA棟、B棟に農林水産物直売所、特産販売所、飲食施設を入れ、施設の魅力を高めるテナント等の導入を検討しています。また、新規のテナント等の出店に柔軟に対応できるようC棟は、開業時はフリースペースとしています。 ・ 施設のデザインや様々な観光客に対応できる施設計画に関しては、施設計画の方針等に基づいて今後具体的に検討していくことから、いただいたご意見を参考とさせていただきます。 	3/25	
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恩納道の駅のように見ごたえのある物産を置いたり、老若男女誰でも楽しめる店舗を入れてほしい。今の道の駅は行ってもつまらない。また、行こうと思わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の機能拡充計画では、新たに建設するA棟、B棟に農林水産物直売所、特産販売所、飲食施設を拡充する予定です。今後、具体的な品ぞろえやテナント構成等を検討していくこととなりますが、頂いたご意見を参考にして、老若男女誰でも楽しむことの出来る店舗を入れて、多くの方に行きたいと思って頂けるような施設づくりを行っていきます。 	3/25	町内在住
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ リニューアルするとのことですが、既存施設の改修や機能の追加について検討して欲しいです。 ・ 1. 嘉手納基地を展望するため多くの観光客等が来るかと思いますが、基地に関する情報発信について、検討して欲しいです。(例えば、「インターネットから見ることのできるライブカメラ」「新しい展望場に騒音が発生した時に、一目で分かる表示装置(現在ある「いもっち」の装置は、ボタンを押さないと動かないようです。)」 「色々な方々がくるといいますので、学習室や会議室があると便利。(修学旅行生の受け入れや、イベントの時の控室とかに使え。今の休憩室は小さい。)」 「学習展示室だけでは嘉手納基地の学習として不十分だと思います。」 ・ 2. 展望場にいるマスコミの皆さんと基地見学者のすみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1. ライブカメラや騒音表示装置等の詳細な設備等については、今後の実施設計等の段階で具体的に検討していきます。 また、現在、既存棟1階の「案内・休憩室」を活用して団体向けの学習を行っていますが、ご指摘の通り若干手狭であるため、案内・休憩機能をA棟に再編することにより、現在の「案内・休憩室」を学習目的に使い易いようにすることを検討します。 ・ 2. 展望場への誘導方法等の詳細については、今後の実施設計や管理運営方法の検討等の段階で具体的に検討していきます。 ・ 3. 今回作成した「基本設計図書」の電機関連設備の欄には、『海外の旅行者が利用できるATMを館内に設置する。』と記載しています。今後は、実際にATMを設 	3/25	町内在住

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
	<p>分け。(仕切りがあるといいかと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3. ATMがあると便利です。検討してください。 	<p>置ることになる金融機関との折衝等を行いながら、ATM設置の可否を検討していきます。</p>		
16	<ul style="list-style-type: none"> 本基本設計では、主な客層を修学旅行生としているが、沖縄を訪れる修学旅行生は、「平和学習」「自然体験学習」「歴史文化体験」を学習している。飲食施設や特産販売所の機能だけを拡充しても、スケジュールが決まっているため、修学旅行生は品物を買う可能性が低い。また、道の駅かでなを訪れる修学旅行生は、嘉手納基地を見学する目的で訪れている。しかし、当施設にて基地についての学習プログラムがないことや講義を行う場所がなく、基地を見たらすぐ次の行程へ移動している。今の平和学習は、以前みたいに、ガマや平和資料館の見学を行う受動的な学習ではなく、生徒自ら平和について考える主体的な学習に移ってきている。沖縄市や北谷など近隣市町村は、その取り組みに向けて動いている。修学旅行生が多く訪れている、当施設において会議室等があれば、嘉手納基地を題材とした学習プログラムを構築することが出来、嘉手納でしか学べない平和学習をする事が出来る。また会議室があれば、シーサー作りやミンサー作り等を体験することが出来、修学旅行生だけではなく、ファミリー層や学生層向けに売り出す事が出来る。地域の事業者飲食施設や特産販売所の売場を増やすことも大切だと思うが、当施設の多くは修学旅行団体が利用している。修学旅行団体が学習する施設を整え、滞在時間を増やし、経済効果を生み出すようにすることも検討する必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の通り、修学旅行生はスケジュールが決まっており長時間の滞留は難しいことから、気軽にテイクアウトしてバスの中でも食べることの出来る商品等を拡充していく予定です。 現在、既存棟1階の「案内・休憩室」を活用して団体向けの学習を行っていますが、若干手狭であるため、案内・休憩機能をA棟に再編することにより、現在の「案内・休憩室」を学習目的に使い易いようにすることを検討します。 	3/25	町内在住
17	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者について ⇒経営を重視した指定管理者が運営にあたるのが望ましい。地元の参加店舗と調和を図る。 既存店舗を含め、道の駅かでな全体のスキルをあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①頂いたご意見を参考にしながら、今後の指定管理者の選定の際に、「経営を重視した管理運営能力」や「地元店舗との調和への配慮」などの選定基準を設けることを検討していきます。 		

No.	ご意見	回答内容	日付	居住地
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ※国内外からの観光客増加に伴い、対応スタッフのコミュニケーション能力の改善の必要性。 ・ ・ ②施設機能拡充（展望台）に伴う有料化について ⇒展望台の有料化を実施し、その売り上げを施設運営及び町内の文化交流企画・開催に充てる。 ・ ※ 例：地域近隣の文化交流やスポーツ交流、平和教育等の企画・開催に充てる。 ・ ・ ③道の駅かでなと各機関との連携態勢の必要性について ⇒今後、観光協会の設立に伴い、道の駅かでなの商工会とかでな振興との連携態勢作りが求められる。 ・ ・ ④悪天候時でも来訪されたお客様の快適空間の施設運営。 ※常設ステージ等の必要性 	<p>観光客に対するコミュニケーション能力については、指定管理者やテナント従業員の研修等を行うことにより、能力を高めることを検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ②増築棟の4階展望台を利用する人から入場料を徴収し、その売り上げを施設運営のための資金として活用することも課題と考えております。 ・ ③道の駅には「地域振興施設」としての役割も求められることから、道の駅かでなを拠点として、観光協会や道の駅かでなのテナント会、かでな振興等、様々な機関の連携体制づくりを行っていきます。 ・ ④既存棟のゾーニングや、A棟の庇等の設置により、悪天候時でも施設内を回遊できるような設計としています。また、当面、C棟は、屋根付きのイベントスペースとしても活用出来るような運用を想定しています。 		